

第2次豊中市男女共同参画改定版の取組状況と今後の課題・要点

基本目標1 人としての尊厳を守る

- 基本課題 1. 人権意識の育み 2. 人権としての性の尊重
3. あらゆる暴力の根絶 (DV対策基本計画を参照) 4. 表現における人権の尊重

取り組み等の現状

- 男女平等教育啓発教材「To you」の作成・活用
- すてっぷでの常設相談・講座の実施
- 性的マイノリティに関する出前講座の実施、市営住宅・市職員特別休暇対象の拡大、市職員向けハンドブック作成
- 「表現のガイドブック」の周知啓発等
- 豊中パープルリボンプロジェクト実施 (DV対策基本計画再掲)

市民の状況等

- 妊産婦の自殺率の増加
- セクハラとなる行為への認識の増加
- 職場でのセクハラ経験がある人は女性で3割程度、男性で1割程度
- 具体的なハラスメント対策を実施している事業所は少ない傾向
- 若年層ほど性的少数者に関する認知度が高く、「身体の性・心の性・性的指向」で悩んだ経験も多い
- 多くの市民が性的少数者が生活しやすい社会であるという認識をもっている

主な課題・要点

- 人権意識を育むための効果的な啓発
- 女性の心身の健康保持・相談支援の充実
- セクハラ予防に向けた啓発及び認識の促進
- 職場での具体的なハラスメント対策の促進
- 性的少数者の人権尊重に向けた取り組みと相談支援の充実
- 性別役割分担意識の解消に向けたメディアリテラシーの向上

基本目標2 男女共同参画の意識を育む

- 基本課題 1. 男女共同参画を推進する教育・学習の推進 2. 男女共同参画の理解の推進
3. 男女共同参画にかかわる情報の収集と提供

取り組み等の現状

- 多様なテーマ設定、様々な人を対象とした講座、事業の実施
- 様々な媒体を活用した啓発と地域団体への講座実施や情報提供
- 市の職員等に向けた研修の実施

市民の状況等

- 固定的な性別役割分担に捉われない意識が浸透しているが、男性では女性より賛成派が多く、特に60歳以上で顕著
- 男性の家事・子育て・介護・地域活動への参加については、個人レベルの意識改革・行動変容とともに、社会レベルの制度・慣習の改革も求められる
- すてっぷの認知度は横ばい
- すてっぷに希望する機能は性別・年齢により異なる

主な課題・要点

- 子どもの発達段階に応じた取り組み、子育て世代への取り組みの充実
- ターゲット (男性・若者・高齢者など) に合わせた効果的なアプローチ
- 地域へのアウトリーチ活動の展開
- ICTなどの多様な媒体、機会・場を活用した啓発、学習機会の提供

基本目標3 すべての人へのエンパワーメントを支援する

- 基本課題 1. エンパワーメントの機会の確保 2. グループ・ネットワークづくり
3. エンパワーメントにつなぐ相談窓口・情報提供の充実

取り組み等の現状

- 女性の職業能力の向上に向けた講座・相談支援に関する事業等の実施
- 引きこもりの方等の自立に向けた支援やひとり親家庭への就労支援、生活困窮支援等の実施
- 就労支援の強化と必要な相談窓口へのつなぎの実施
- 苦情処理制度による相談・申出対応

市民の状況等

- すてっぷに希望する機能は性別・年齢により異なる (再掲)
- 就業者に占める女性の割合は横ばい
- 女性の非正規職員・従業員の割合は大阪府・全国と比べて高い
- 現在就労していない母親の8割以上は何らかの就労希望を持ち、就労していない理由では「子育てしながら働ける適当な仕事がない」が多い
- 支援を必要とする高齢者・ひとり親家庭・引きこもり状態にある人等の増加

主な課題・要点

- すてっぷの取り組みを中心としたエンパワーメント支援の充実
- コロナ禍の影響を踏まえた個々の状況・ニーズに応じた相談支援の強化
- 男女共同参画の視点を持った「地域包括ケアシステム・豊中モデル」の構築・拡充
- 各種相談窓口の連携・相談対応の充実

基本目標4 あらゆる分野への男女共同参画を推進する

- 基本課題 1. 社会制度、慣行の見直し 2. 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
3. ワーク・ライフ・バランスの推進 4. 多様な働き方への支援

取り組み等の現状

- 待機児童数ゼロの達成
- 審議会等への女性委員の登用、女性職員・教員の管理職等への登用の推進
- 「豊中市特定事業主行動計画」の策定と推進
- 事業者へのワーク・ライフ・バランスの実現に向けた働きかけの実施
- 男性の家事・育児への参画に向けた講座・講演会等の実施

市民の状況等

- 「社会通念・慣習・しきたり」「政治の場」などでは、男女とも『男性優位』と思う人が多い
- 市の男性職員の育児休業取得率は増加
- 男女ともワーク・ライフ・バランスを取りたくても、取れていない状況
- ワーク・ライフ・バランスに関する取り組み市内事業所は7割を占める

主な課題・要点

- 「豊中市特定事業主行動計画」の適切な推進
- 市政に関わる政策・方針決定過程への女性の参画拡大
- 庁内における多様な人材の活用
- 企業・事業所へのワーク・ライフ・バランス及び多様な働き方の実現に向けたアプローチの強化
- 男性の意識改革、家庭・地域への参画促進に向けた取り組みの充実

第2次豊中市DV対策基本計画の取組状況と今後の課題・要点

基本的方向1 DVを許さないまちづくり

取り組み等の現状

- 様々な媒体、機会・場を活用したDVに関する啓発（豊中パープルリボンプロジェクト実施等）
- 若年層への啓発活動の積極的な展開

市民の状況等

- 精神的暴力と社会的暴力にあたる項目で男女の認識の差あり
- 男女とも若い年代ほど暴力の認知が高い傾向
- DV被害者の被害認識の低さが相談につながらない大きな要因

主な課題・要点

- 暴力行為の認知の向上に向けた周知啓発の充実
- DVに関する情報のバリアフリー化

基本的方向2 安心して相談できる体制づくり

取り組み等の現状

- 様々な媒体、機会・場を活用した相談窓口に関する啓発
- 相談担当者のスキルアップ、他機関との相互連携
- 豊中市配偶者暴力相談支援センターの設置

市民の状況等

- DVの相談窓口の認知は広がるが、具体的な窓口の認知は不十分
- DVについて相談したかったが、しなかった女性は1割
- 公的機関へ相談した人の割合は増加
- コロナ禍でのDV相談件数の増加

主な課題・要点

- 相談窓口等の周知啓発の強化
- 多様な背景を持つ相談者にとって望ましい相談支援体制の充実
- 相談担当者等のスキルアップ等に向けた仕組みづくり

基本的方向3 緊急時における安全の確保

取り組み等の現状

- 緊急時対応、連携に関する課題・情報の共有
- DV相談専属の相談員の配置による支援強化
- 外国人のための多言語相談サービス事業の実施
- 相談者の状況に応じた支援の提供

市民の状況等

- 命の危機を感じるほどの暴力を受けた女性は1.4%

主な課題・要点

- 複合多様化するケースへの対応の強化
- 一時保護先の確保・拡充
- 障がい者、外国人への支援体制の整備・充実
- 児童虐待を扱う機関との連携

基本的方向4 自立支援の充実

取り組み等の現状

- ワンストップサービスの推進
- 被害者の個人情報の漏洩防止、管理の徹底
- 地域就労支援センターとの連携による自立支援
- 被害を受けた子どもへの支援

主な課題・要点

- ワンストップサービスの推進・充実
- 関係機関との連携強化による多角的な支援体制の充実
- 多様なケース、被害者の特性に応じた支援の充実

基本的方向5 関係機関・民間団体との連携・協力

取り組み等の現状

- DV防止ネットワーク会議等を通じた関係機関・民間団体との連携強化

主な課題・要点

- DV防止ネットワーク会議等の充実によるさらなる関係構築
- 適切な支援に向けたケース会議等の既存の機会・仕組みの積極的な活用